

草野耕一裁判官送別関係資料

プロフィール・関与裁判例等

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| 1 国民審査公報掲載文（令和3年10月31日執行） | 別紙1   |
| 2 主要関与裁判例一覧表              |       |
| (1) 大法廷                   | 別紙2-1 |
| (2) 第二小法廷（裁判長）            | 別紙2-2 |
| (3) 第二小法廷（裁判長以外の関与事件）     | 別紙2-3 |
| 3 在任中の終局事件数（大法廷、第二小法廷）    | 別紙3   |
| 4 関与事件の判例集・裁判集登載件数        | 別紙4   |
| 5 最高裁ホームページ               | 別紙5   |
| 6 調査官室ごとの主要関与事件           | 別紙6   |



最高裁判所判事

くさのこういち

# 草野耕一

昭和三〇年三月二日生

略歴

千葉県千葉市生まれ。千葉大附属小・附属中、県立千葉高を経て  
昭和五三年 三月 東京大学法学部卒業、四月司法修習生  
五五年 四月 弁護士登録（第一東京弁護士会）  
六一年 ハーバード大学修士（L.L. M.）  
平成一六年 西村あさひ法律事務所（当時の名称「西村と  
きわ法律事務所」）代表パートナー  
一九年 東京大学大学院法学政治学研究科客員教授  
二五年 慶應義塾大学大学院法務研究科教授  
二六年 ハーバード大学法科大学院客員教授  
三〇年 東京大学博士（法学）  
三一年 二月 最高裁判所判事

## 最高裁判所において関与した主要な裁判

一 令和元年九月一日 第二小法廷判決  
漁業権に基づく潮受堤防水門の開門請求に対する請求異議を認容した原判決を破棄した多数意見の結論に賛同しつつ大要以下の内容の意見を述べた。（経済的利益を化体した権利（漁業権はこれにあたる）に基づく物権的請求権の行使は、①権利侵害を除去するために要する費用が除去することによって回避できる損害額を上回り、かつ、②請求権者が被った損害（将来被る損害を含む）が全額弁償されている場合には、別段の事由がない限り、権利濫用の法理によって抑止されるべきである。）

## 二 令和二年二月二八日 第二小法廷判決（裁判長）

運送会社の従業員（トラック運転手）が就労中に起こした交通事故に関して当該従業員が被害者に対して賠償金を支払った場合にはその金額の全部又は一部を会社に対して求償し得るとする法廷意見を述べたうえで大要以下の内容の補足意見を付した。（求償権の被請求者が大手上場会社であり、請求者が同社専従の従業員である場合、被請求者は支払われた賠償金の大半を負担すべきであり、全額を負担すべき場合もあるであろう。なぜならば、賠償金の支払いを当該従業員の私的負担とすれば同人に著しい不利益が生じるのに対して、多数の運転手を用いて運送事業を営む会社は変動係数の小さい確率分布に従う偶発的財務事象としてこれに合理的に対応することが可能であり、さらに、当該会社の最終的な利益帰属主体である同社の株主は分散投資を行うことにより自ら負担するリスクを自己の選好に応じて調整することが可能だからである。）

## 三 令和二年九月一六日 第二小法廷決定（裁判長）

業としてタトゥーの施術を行うことが医師法違反となるか否かが問われた事件において、医師法違反にはならないとする法廷意見を述べたうえで大要以下の内容の補足意見を付した。（タトゥーの施術が医行為にあたるという解釈をとればタトゥーの施術を業として行う者は本邦から消失する可能性が高い。しかしながら、健全な動機からタトゥーの施術を求める者も少なくないことを考えると（公共空間におけるタトゥーの露出の可否について議論を深める余地はあるとしても）タトゥーの施術に対する需要そのものを否定すべきいわれはなく、そのような需要が満たされることのない社会を強制的に作り出すような法解釈を行うことは福利の最大化という立法の理念に反している。）

## 四 その他の主要な裁判

参議院議員の議員定数配分規定の合憲性が問われた令和二年一月一八日大法廷判決及び選択的夫婦別氏制を採用しない現行の民法及び戸籍法の合憲性が問われた令和三年六月二三日大法廷決定において、それぞれ意見及び反対意見を述べた。  
裁判官としての心構え

法の解釈が異なれば人々の行動が変わり、人々の行動が変われば社会のありようが変わります。司法にはこのような働きがあることを心に刻み、微力ながら、豊かで公正で寛容な社会の形成に資する判決・決定の作成に傾注したいと考えています。

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(大法廷)

年月日	種別	事件番号	事件名	審判長	裁判官	審判部	審判官	審判官補	審判官補	審判官補	審判官補	審判官補	審判官補
20200826	決定	2(分)1	裁判官に対する懲戒申立て事件		大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、林(景)、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、岡村	戒告					1480-98	6紙
20201118	判決	2(行ツ)78	選挙無効	令和元年参議院議員選挙無効訴訟	大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林(景)、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林(道)、岡村	上告棄却	(反対意見)林(景)、宮崎、宇賀、(意見)三浦、草野	74-8-2111	2477-3	1480-62	6紙	
20201118	判決	2(行ツ)6、16、28、29、30、32、34、35、39、41、43、44	選挙無効	令和元年参議院議員選挙無効訴訟	大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林(景)、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林(道)、岡村	上告棄却	(反対意見)林(景)、宮崎、宇賀、(意見)三浦、草野				6紙	
20201118	判決	2(行ツ)13、17	選挙無効	令和元年参議院議員選挙無効訴訟	大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林(景)、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林(道)、岡村	上告棄却	(反対意見)林(景)、宮崎、宇賀、(意見)三浦、草野				6紙	

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(大法廷)

20201118判決	2(行ツ)49	選挙無効	令和元年参議院議員選挙無効訴訟	大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林(景)、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林(道)、岡村	上告棄却	(反対意見)林(景)、宮崎、宇賀、(意見)三浦、草野				6紙
20201125判決	30(行ヒ)417	出席停止処分取消等	出席停止処分取消等	大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林(景)、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林(道)、岡村	上告棄却	(補足意見)宇賀	74-8-2229	2476-5		6紙
20210224判決	元(行ツ)222、元(行ヒ)262	固定資産税等課税免除措置取消(住民訴訟)請求		大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林(景)、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林(道)、岡村	一部棄却、一部破棄自判	(反対意見)林(景)	75-2-1	2488、2489-5	1485-10	6紙
20210623決定	2(ク)301	市町村長処分不服申立て却下審判に対する抗告		大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺	抗告棄却	(反対意見)宮崎、宇賀、草野、(補足意見)深山、岡村、長嶺、(意見)三浦				6紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(大法廷)

20210623決定	2(ク)102	市町村長処分不服申立て却下審判に対する抗告		大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺	抗告棄却	(反対意見)宮崎、宇賀、草野、(補足意見)深山、岡村、長嶺、(意見)三浦	2501-3	1488-94	6紙	
20210623決定	2(ク)372	市町村長処分不服申立て却下審判に対する抗告		大谷	大谷、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺	抗告棄却	(反対意見)宮崎、宇賀、草野、(補足意見)深山、岡村、長嶺、(意見)三浦			6紙	
20220525判決	2(行ツ)25、5、2(行ヒ)290、291、292	在外日本人国民審査権確認等、国家賠償	国民審査在外投票制限訴訟	大谷	大谷、菅野、山口、戸倉、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺、安浪、渡辺、岡、堺	一部破棄自判、一部棄却	(補足意見)宇賀	76-4-711	2536-44	1501-52	6紙
20230125判決	4(行ツ)98、103、104、109、116、118、119、122、124、126、127、128、130、132、137、138	選挙無効	令和3年衆議院議員選挙無効訴訟	戸倉	戸倉、山口、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺、安浪、渡辺、岡、堺、今崎、尾島	上告棄却	(反対意見)宇賀	77-1-1	2556-5	1506-15	6紙
20231018判決	5(行ツ)3、5、7、9、10、11、17、18、19、22、23、27、28、29、37、52、53、54	選挙無効	令和4年参議院議員選挙無効訴訟	戸倉	戸倉、山口、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺、安浪、渡辺、岡、堺、今崎、尾島	上告棄却	(意見)三浦、草野、尾島 (反対意見)宇賀	77-7-1654	1516-26	6紙	

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(大法廷)

20231025 決定	2(ク)993	性別の取扱いの変更申立て却下審判に対する抗告棄却決定に対する特別抗告		戸倉	戸倉、山口、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺、安浪、渡辺、岡、堺、今崎、尾島	原決定破棄・差戻し	(補足意見)岡(反対意見)三浦、草野、宇賀	77-7-1792	2593-5		6紙
20240703 判決	5(受)1323	国家賠償	旧優生保護法強制不妊損害賠償訴訟(札幌)	戸倉	戸倉、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、安浪、渡辺、岡、堺、今崎、尾島、宮川、石兼	上告棄却	(補足意見)三浦、草野(意見)宇賀				6紙
20240703 判決	4(受)1050	損害賠償	旧優生保護法強制不妊損害賠償訴訟(大阪)	戸倉	戸倉、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、安浪、渡辺、岡、堺、今崎、尾島、宮川、石兼	上告棄却	(補足意見)三浦、草野(意見)宇賀				6紙
20240703 判決	5(才)134 1.5(受)1682	国家賠償	旧優生保護法強制不妊損害賠償訴訟(仙台)	戸倉	戸倉、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、安浪、渡辺、岡、堺、今崎、尾島、宮川、石兼	原判決破棄・差戻	(補足意見)三浦、草野(意見)宇賀				6紙
20240703 判決	4(受)1411	国家賠償	旧優生保護法強制不妊損害賠償訴訟(東京)	戸倉	戸倉、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、安浪、渡辺、岡、堺、今崎、尾島、宮川、石兼	上告棄却	(補足意見)三浦、草野(意見)宇賀				6紙
20240703 判決	5(受)1319	国家賠償	旧優生保護法強制不妊損害賠償訴訟(兵庫)	戸倉	戸倉、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、安浪、渡辺、岡、堺、今崎、尾島、宮川、石兼	上告棄却	(補足意見)三浦、草野(意見)宇賀	78-3-382			6紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長)

[illegible]

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長)

20210317	2:決定		損害賠償、同 附帯	慰謝料請求 訴訟	VS	草野	草野、菅野、 三浦、岡村	上告棄却、上 告不受理	6紙
20210414	2:決定	2(許)37	訴訟行為の 排除を求める 申立ての却 下決定に対 する抗告審 の取消決定 に対する許 可抗告		VS	草野	草野、菅野、 三浦、岡村	原決定破棄、 原々決定に 対する抗告 棄却	2509-12
20210719	2:判決	元(受)196 8	損害賠償請 求		VS	草野	草野、菅野、 三浦、岡村	原判決破棄、(補足意見) 差戻し 草野	
20210908	2:決定		覚醒剤取締 法違反			草野	草野、菅野、 三浦、岡村	上告棄却	
20211009	2:決定		公契約関係 競売入札妨 害等			草野	草野、菅野、 岡村	上告棄却	
20220117	2:決定		訴訟終了宣 言の決定に 対する異議 申立て棄却 決定に対す る特別抗告			草野	草野、菅野、 三浦、岡村	抗告棄却	
20220323	2:決定		不当利得請 求権行使		VS 国	草野	草野、菅野、 三浦、岡村	上告棄却、上 告不受理	
20220325	2:決定		窃盗、住居侵 入、強制性交 等、強盗致 傷、強制わい せつ、加重逃 走			草野	草野、菅野、 三浦、岡村	上告棄却	
20220413	2:決定		損害賠償等		VS	草野	草野、菅野、 三浦、岡村	上告棄却、上 告不受理	
20220624	2:判決	2(受)1442	投稿記事削 除		VS	草野	草野、菅野、 三浦、岡村	原判決破棄、 被上告人の 控訴棄却	76-5-1170 2561・2562- 63 1507-49 6紙



草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長)

20220706	2:決定	■	著作者人格権等侵害行為差止等	vs ■	草野	草野、三浦、岡村	上告不受理				
20230310	2:判決	4(受)1019	未払賃金等	S ■	草野	草野、三浦、岡村、尾島	原判決一部破棄、差戻し	(補足意見) 草野	2571-95	1510-150	
20230324	2:決定	■	無期労働契約の地位確認及び損害賠償	■ vs ■	草野	草野、岡村、三浦、尾島	上告棄却				
20230324	2:判決	4(あ)196	死体遺棄	■	草野	草野、岡村、三浦、尾島	原判決破棄無罪	77-3-41	2570-108	1510-163	6紙
20231106	2:判決	4(行ヒ)228、229	法人税更正処分等取消請求事件	国 vs ■	草野	草野、三浦、岡村、尾島	原判決一部破棄自判、拡張請求棄却、附帯上告棄却	(補足意見) 草野	77-8-1933	2589-56	1518-74
20240426	2:判決	5(受)604	損害賠償等請求	■ vs ■	草野	草野、三浦、岡村、尾島	原判決一部破棄、差戻し			1523-80	6紙
20240624	2:決定	■	現住建造物等放火、殺人、殺人未遂	■	草野	草野、三浦、岡村、尾島	上告棄却				
20240705	2:決定	■	請負代金	S ■	草野	草野、三浦、岡村、尾島	上告不受理				
20240913	3:決定	■	殺人	■	草野	草野、三浦、岡村、尾島	上告棄却				
20241016	2:決定	6(許)5	文書提出命令に対する抗告書の変更決定に対する許可抗告	■ vs 国	草野	草野、三浦、岡村、尾島	破棄自判、原々決定一部更正				5紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

年月日	小法注	審判	事件番号	事件	被告	原告	審理	判決	備考
20190318	21決定			再審請求 再審 請求事件	菅野	菅野、山本、 草野	抗告棄却		6紙
20190327	21決定			住居侵入、強 姦致傷、強姦	菅野	菅野、山本、 三浦、草野	上告棄却		6紙
20190605	21決定			親子関係不 存在確認	vs	三浦	上告棄却、上 告不受理		
20190626	21決定			請求訴訟	vs 国	菅野	菅野、山本、 三浦、草野	上告棄却、上 告不受理	6紙
20190626	21決定			差止請求 並びに独立当 事者参加	vs 国	菅野	菅野、山本、 三浦、草野	上告棄却、上 告不受理	6紙
20190710	21決定			国家 賠償等請求 事件	vs 国	三浦	三浦、山本、 菅野、草野	上告棄却、上 告不受理	
20190719	21判決	28(あ)188 9		住居侵入、強 盗殺人、強盗 殺人未遂	山本	山本、菅野、 三浦、草野	上告棄却		6紙
20190724	21決定			受信料支払 請求	s vs	菅野	菅野、山本、 三浦、草野	上告棄却、上 告不受理	5紙
20190807	21決定			住居侵入、強 盗殺人、強盗 殺人未遂(判 決訂正審)	山本	山本、菅野、 三浦、草野	判決訂正申 立棄却		
20190807	21決定			損害賠償	vs 国	菅野	菅野、山本、 三浦、草野	上告不受理	
20190807	21決定			損害賠償	vs 国	菅野	菅野、山本、 三浦、草野	上告不受理	

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20190809	2 判決	元(さ)1	道路交通法違反(非常上告)		vs	三浦	三浦、山本、菅野、草野	原略式命令棄却、無罪				
20190809	2 判決	30(受)1626	執行文付与に対する異議		vs	菅野	菅野、山本、三浦、草野	上告棄却	73-3-293	2452-35	1474-5	6紙
20190913	2 判決	30(受)1874	請求異議	陳早濤請求異議訴訟	vs 国	菅野	菅野、山本、三浦、草野	原判決破棄、差戻		2434-16		6紙
20190920	2 決定		殺人			三浦	三浦、菅野、草野	上告棄却				
20190927	2 決定	30(あ)1224	覚せい剤取締法違反、詐欺未遂、詐欺			菅野	菅野、三浦、草野	原判決破棄、控訴棄却		2495-93	1486-23	
20191031	2 決定		住居侵入、殺人未遂、銃砲刀剣類所持等取締法違反			岡村	岡村、菅野、三浦、草野	上告棄却				
20191225	2 決定		損害賠償等請求事件		vs 国	三浦	三浦、菅野、草野、岡村	上告棄却、上告不受理				
20200205	2 決定		損害賠償		vs 国	岡村	岡村、菅野、三浦、草野	上告棄却、上告不受理				6紙
20200304	2 決定		殺人、商標法違反、銃砲刀剣類所持等取締法違反	殺人被害事件		三浦	三浦、菅野、草野、岡村	上告棄却				6紙
20200306	2 判決	31(受)6	損害賠償請求		vs	三浦	三浦、菅野、草野、岡村	原判決一部破棄、差戻し	(意見)草野	74-3-149	2464-3	1477-30
20200311	2 決定	元(ク)791	性別の取扱いの変更申立て却下審判に対する抗告棄却決定に対する特別抗告			岡村	岡村、菅野、三浦、草野	抗告棄却				5紙
20200708	2 決定		差止等	差止訴訟	vs 国	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	上告棄却、上告不受理				6紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20200731	2 決定		殺人			三浦	三浦、菅野、 草野、岡村	上告棄却				5紙
20200826	2 決定		国家賠償		国、鳥取県	三浦	三浦、菅野、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				5紙
20200902	2 決定		損害賠償		国	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				
20200902	2 決定		政治資金規 正法違反			三浦	三浦、菅野、 草野、岡村	上告棄却				5紙
20200902	2 決定		政治資金規 正法違反			三浦	三浦、菅野、 草野、岡村	上告棄却				5紙
20200914	2 決定		強盗殺人			三浦	三浦、菅野、 草野、岡村	上告棄却				
20201009	2 判決	30(受)203 2	国家賠償		国 vs	岡村	岡村、菅野、 三浦、草野	原判決一部 破棄自判	草野	74-7-1807		
20201009	2 判決	元(受)877、 878	損害賠償			岡村	岡村、菅野、 三浦、草野	原判決一部 破棄自判、一 部却下	草野	2495-31	1486-15	
20201023	2 判決	2(行ツ)79	選挙無効		vs 中央選 挙管理会	岡村	岡村、菅野、 三浦、草野	上告棄却	草野		1482-42	
20201028	2 決定		謝罪広告等		vs	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				
20201118	2 決定		謝罪広告等		vs	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				
20201209	2 決定		差止等	訴訟	vs 国	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				6紙
20201209	2 決定		損害賠償		国 vs	岡村	岡村、菅野、 三浦、草野	上告棄却、上 告不受理				
20210115	2 決定		建造物侵入			菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却				
20210120	2 決定		課徴金納付 命令取消		vs 国	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				
20210217	2 決定		懲戒処分取 消等		東京都 vs	三浦	三浦、菅野、 草野、岡村	上告不受理				

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20210217	2 決定		懲戒処分取消等		■ vs 東京都	三浦	三浦、菅野、草野、岡村	上告棄却、上告不受理				
20210324	2 決定		損害賠償等		■ vs 国	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	上告棄却、上告不受理				
20210412	2 決定		再審請求に対する特別抗告		■	菅野	菅野、草野、岡村	抗告棄却				
20210414	2 決定		国家賠償		東京都 vs ■	岡村	岡村、菅野、三浦、草野	上告不受理				
20210426	2 判決	元(受)1287	損害賠償請求 B型肝炎損害賠償訴訟		■ vs 国	三浦	三浦、菅野、草野、岡村	原判決破棄 差戻し	(補足意見) 三浦		2504-82	6紙
20210507	2 決定		贈賄		■	岡村	岡村、菅野、三浦、草野	上告棄却				
20210507	2 決定		贈賄		■	岡村	岡村、菅野、三浦、草野	上告棄却				
20210514	2 判決	2(行ヒ)238	住民訴訟による違法確認請求		徳島県知事 vs ■	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	原判決一部破棄自判				
20210604	2 判決	2(受)133	不当利得返還請求、被災者生活再建支援金支給決定取消処分取消請求 本訴、不当利得返還請求 反訴、不当利得返還請求		■ vs ■	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	■につき上告棄却、 ■133号事件につき、原判決破棄自判			(133号事件について) 2506・2507-114	
20210623	2 決定		損害賠償請求		■ vs 国	岡村	岡村、菅野、三浦、草野	上告棄却				5紙
20210712	2 決定		殺人		■	三浦	三浦、菅野、草野、岡村	上告棄却				
20210825	2 決定		住民投票実施義務付け等		■ vs 石垣市	三浦	三浦、菅野、草野、岡村	上告棄却、上告不受理				
20210901	2 決定		査証発給拒否国家賠償		■ vs 国	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	上告棄却、上告不受理				

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20210915	2 決定		強姦、児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律違反			三浦	三浦、菅野、草野、岡村	上告棄却						5紙
20211011	2 決定		わいせつ電磁的記録記録媒体有償頒布目的所持			三浦	三浦、菅野、草野、岡村	上告棄却						
20211027	2 決定		覚醒剤取締法違反、関税法違反、大麻取締法違反			岡村	岡村、菅野、三浦、草野	抗告棄却						
20211214	2 決定		仮処分命令認可決定に対する抗告に対する許可抗告		VS	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	抗告棄却						6紙
20220207	2 判決	3(行ツ)73	非認定処分取消請求		VS	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	上告棄却	(意見)草野	76-2-101	2529-5	1497-51		6紙
20220209	2 決定		損害賠償			菅野	菅野、三浦、草野、岡村	被上告人のうち5名の請求部分を上告受理、その他の部分を上告不受理						
20220209	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	上告棄却、上告不受理						



草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20220209	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				
20220209	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				
20220209	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				
20220209	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理				
20220209	2 決定		損害賠償		VS 国 外 12	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理				
20220209	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却				
20220209	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理				
20220209	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却				
20220218	2 判決	2(あ)1026	準強制わい せつ	医師 術後わいせ つ事件		三浦	三浦、菅野、 草野、岡村	原判決破棄、 差戻し			1498-49	6紙
20220302	2 決定		原状回復等、 同附帯		VS 、国	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理				6紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

202203021	2 決定		損害賠償、同 附帯		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理					6紙
202203021	2 決定		損害賠償、同 附帯		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理					6紙
202203021	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理					6紙
202203021	2 決定		損害賠償		VS 国	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	一部上告棄 却、一部上告 却下					6紙
202203021	2 決定		原状回復等、 同附帯		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理					6紙
202203021	2 決定		原状回復等、 同附帯		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理					6紙
202203021	2 決定		損害賠償		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理					6紙。 同一事件番 号の国に対 する部分につ き同日上告 受理の上、期 日指定。
202203041	2 判決		裁決取消			三浦	三浦、菅野、 草野、岡村	上告棄却					



草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20220330	2 決定		損害賠償、同 附帯		VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理					5紙
20220330	2 決定		損害賠償、同 附帯		VS 国	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告不受理					5紙
20220520	2 判決	2(あ)1135	不正競争防 止法違反幫助	タイ発電所事 業騒音事件		菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	原判決破棄 控訴棄却		76-4-452	12583-82	1507-56	6紙
20220603	2 判決	3(受)112 5、1126	損害賠償		(1125) VS (1126) VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	原判決一部 破棄差戻し、 一部破棄自 判					
20220615	2 決定		取消 等、同附帯		VS 群馬県	岡村	岡村、菅野、 三浦、草野	上告棄却、上 告不受理					
20220615	2 決定		損害賠償		VS 大阪府	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却、上 告不受理					
20220617	2 判決	3(オ)293の 2	原状回復等 請求控訴、同 附帯控訴	福島原発避 難者訴訟	VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	原判決破棄 自判					6紙
20220617	2 判決		損害賠償		VS 国	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	上告棄却	(反対意見) 三浦 (補足意見) 菅野、草野				6紙
20220617	2 判決	3(受)1205	損害賠償請 求控訴、同附 帯控訴	千葉原発避 難者訴訟	国 VS	菅野	菅野、三浦、 草野、岡村	原判決破棄 自判	(反対意見) 三浦 (補足意見) 菅野、草野				6紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20220617	2 判決		損害賠償請求控訴、同附帯控訴		国 vs	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	原判決破棄自判	(反対意見) 三浦 (補足意見) 菅野、草野				6紙
20220617	2 判決	3(受)342	原状回復等請求控訴、同附帯控訴	福島原発避難者訴訟	国 vs	菅野	菅野、三浦、草野、岡村	原判決破棄自判	(反対意見) 三浦 (補足意見) 菅野、草野	76-5-955	2546-5		6紙
20220624	2 判決	3(受)1463	親子関係不存在確認請求事件		検事総長 林眞琴	岡村	岡村、菅野、三浦、草野	原判決破棄、1審判決取消、差戻し			2547-18		
20221017	2 判決		損害賠償		vs	三浦	三浦、草野、岡村、尾島	原判決破棄、差戻し					
20230120	2 判決	4(行ツ)131	選挙無効		vs 中央選挙管理会	三浦	三浦、草野、岡村、尾島	上告棄却					
20230130	2 判決		発信者情報開示		Vs	尾島	尾島、三浦、草野、岡村	上告棄却					
20230130	2 判決	3(受)2050	発信者情報開示		Vs	尾島	尾島、三浦、草野、岡村	原判決一部破棄自判		77-1-86	2567-34	1510-158	
20230220	2 決定		入札談合等関与行為の排除及び防止並びに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律違反、公契約関係競売入札妨害、加重収賄			尾島	尾島、三浦、草野、岡村	上告棄却					
20230308	2 決定		未払い賃金		vs 埼玉県	岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却 上告不受理					
20230322	2 決定		損害賠償		愛知県知事 大村秀章 vs	尾島	尾島、三浦、草野、岡村	上告棄却 上告不受理					
20230426	2 決定		損害賠償		vs	岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却					6紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20230628	2 決定		損害賠償		VS	尾島	尾島、三浦、 草野、岡村	上告棄却 上告不受理					
20230703	2 判決	13(あ)855	殺人、生命身 体加害略取、 逮捕監禁致 死、逮捕監禁			尾島	尾島、草野、 岡村	上告棄却					
20230705	2 決定		①住居侵入、 強盗致死、建 造物侵入、窃 盗、強盗、窃 盗未遂、②住 居侵入、強盗 致死、建築物 侵入、窃盗、 強盗、③住居 侵入、強盗致 死、建築物侵 入、窃盗、強 盗傷人	強盗事件		尾島	尾島、三浦、 草野、岡村	各上告棄却					
20230712	2 決定		労働委員会 命令取消		VS 国	三浦	三浦、草野、 岡村、尾島	本件を上告 審として受理 しない。					5紙
20230906	2 決定		安保法違憲 訴訟		VS 国	三浦	三浦、草野、 岡村、尾島	上告棄却、上 告不受理					
20230922	2 判決	5(さ)1	小浜簡易裁 判所がした略 式命令に対 する非常上告			尾島	尾島、三浦、 草野、岡村	原略式命令 破棄、本件公 訴を棄却					
20231023	2 決定		殺人未遂			尾島	尾島、三浦、 草野、岡村	上告棄却					
20231115	2 決定		住居侵入、殺 人、殺人未遂			三浦	三浦、草野、 岡村、尾島	上告棄却					
20231117	2 判決	4(行七)234	助成金不交 付処分取消		VS 独立行政法 人日本芸術 文化振興会	尾島	尾島、三浦、 草野、岡村	原判決破棄、 被上告人控 訴棄却		77-8-2070	2597-23	1518-67	16紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20231120	2 決定		①につき、收賄、有印私文書偽造、同行使、詐欺、詐欺未遂。②につき、贈賄		尾島	尾島、三浦、草野、岡村	上告棄却				
20231121	2 判決	5(あ)976	公職選挙法違反		三浦	三浦、草野、岡村、尾島	上告棄却				6紙
20231127	2 判決	3(受)1620	取立金請求事件		vs 三浦	三浦、草野、岡村、尾島	原判決破棄、自判	(補足意見)三浦 (意見)草野	77-8-2188	2599-26	1519-162
20231215	2 判決	4(行ツ)275	年金減額改定決定取消、年金減額改定決定取消等請求		vs 国 尾島	尾島、三浦、草野、岡村	上告棄却	(補足意見)三浦、尾島	77-9-2285		
20240117	2 決定		医療過誤に基づく損害賠償		vs 尾島	三浦、草野、岡村	上告棄却、上告不受理				
20240311	2 決定		傷害、公務執行妨害、強盗殺人、銃砲刀剣類所持等取締法違反、殺人未遂、殺人		岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却				6紙
20240327	2 決定		各所得税法違反		尾島	尾島、三浦、草野、岡村	各上告棄却				
20240327	2 決定		損害賠償		vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告不受理				
20240403	2 決定		損害賠償		vs 三浦	三浦、草野、岡村、尾島	上告棄却				
20240415	2 決定		再審請求棄却決定に対する異議申立て棄却決定に対する特別抗告		三浦	三浦、草野、岡村、尾島	抗告棄却				6紙

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20240417	2 決定		建物引渡等請求、地位確認等請求		vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告不受理					
20240424	2 決定		請求事件		vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却、上告不受理					
20240524	2 決定		囑託殺人、死体横置、銃砲刀剣類所持等取締法違反		尾島	尾島、三浦、草野、岡村	上告棄却					
20240607	2 判決		年金減額改定取消請求		vs 三浦	三浦、草野、岡村、尾島	上告棄却					
20240607	2 判決		年金額改定(減額)処分取消請求		vs 三浦	三浦、草野、岡村、尾島	上告棄却					
20240607	2 判決		年金減額改定処分取消、未払年金支払請求		vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却					
20240607	2 判決		年金額減額処分取消請求		vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却					
20240607	2 判決		年金減額改定取消請求		vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却					
20240607	2 判決		年金額減額分給付請求		vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却					
20240621	2 判決	5(受)287	認知請求	認知請求	vs 尾島	尾島、三浦、草野、岡村	原判決一部破棄自判	(補足意見)三浦、尾島	78-3-315			6紙
20240626	2 決定		当選無効裁決取消		東京都選挙管理委員会 vs	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却、上告不受理					
20240729	2 決定		殺人		尾島	尾島、三浦、草野、岡村	上告棄却					
20241007	2 決定		公職選挙法違反		三浦	三浦、草野、岡村、尾島	上告棄却					
20241021	2 決定		公職選挙法違反		三浦	三浦、草野、岡村、尾島	上告棄却					

草野裁判官 主要関与裁判例一覧表  
(第二小法廷 裁判長以外の関与事件)

20241106	2 決定		裁判員の参加する刑事裁判に関する法律3条1項に定める対象事件からの除外請求に対する即時抗告棄却決定に対する特別抗告			尾島	尾島、三浦、草野、岡村	抗告棄却						
20241113	2 決定		業務上過失致死傷			岡村	岡村、草野、尾島	公訴棄却						5紙
20241211	2 決定		損害賠償			vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却、上告不受理						
20241216	2 判決	5(行ヒ)430	不作為違法確認等、国家賠償等			vs 三浦	三浦、草野、岡村、尾島	上告棄却						
20241223	2 判決	5(受)1583	発信者情報開示等請求			vs 尾島	尾島、三浦、草野、岡村	原判決一部破棄、自判、その余上告棄却						6紙
20250117	2 判決	6(受)275	第二次世界大戦戦没者合祀絶止等請求			vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却	(反対意見)三浦、(補足意見)尾島					6紙
20250122	2 決定		国家賠償			vs 岡村	岡村、三浦、草野、尾島	上告棄却、上告不受理						
20250129	2 決定		再審請求棄却決定に対する即時抗告棄却決定に対する特別抗告			岡村	岡村、三浦、草野、尾島	抗告棄却						

## 草野裁判官在任中の終局事件数(大法廷・第二小法廷)

(注1)数値は、最高裁判部において集計した概数である。

(注2)ご就任日(平成31年2月13日)から令和7年1月31日までに終局した事件数であり、関与されていない事件も含まれる。

### 1 民事・行政事件

事件の種類	民・行	大法廷	第二小法廷	小 計	合 計
上告	民事(才)	1	3252	3253	3935
	行政(㊦)	51	631	682	
上告受理	民事(受)	5	4079	4084	4835
	行政(㊦)	5	746	751	
並行申立控除後の件数	民事	5	4471	4476	5400
	行政	54	870	924	

事件の種類	民・行	大法廷	第二小法廷	小 計	合 計
特別上告	民事(テ)	0	134	134	134
	行政(㊦)	0	0	0	

事件の種類	民・行	大法廷	第二小法廷	小 計	合 計
特別抗告	民事(ク)	4	2379	2383	2558
	行政(㊦)	0	175	175	
許可抗告	民事(㊦)	0	44	44	47
	行政(㊦)	0	3	3	
並行申立控除後の件数	民事	4	2398	2402	2578
	行政	0	176	176	

### 2 刑事事件

事件の種類	大法廷	第二小法廷	合 計
上 告	0	3255	3255
上告受理	0	41	41
特別抗告	0	1985	1985

### 3 裁判官分限事件

1 件

## 草野裁判官関与事件の判例集・裁判集登載件数

(注) 令和7年1月分までの判例集及び裁判集の登載件数(含む登載予定)

※ご就任日は平成31年2月13日です。

### 【民事・行政事件】

1 判例集登載判例	39件(うち、大法廷事件	8件)
(1) 裁判長事件	4件(うち、大法廷事件	0件)
(2) 意見あり	14件(うち、大法廷事件	1件)
(意見の内訳)		
反対意見	1件(うち、大法廷事件	1件)
補足意見	6件(うち、大法廷事件	1件)
意見	7件(うち、大法廷事件	2件)
2 裁判集(民事)登載判例	20件(うち、大法廷事件	3件)
(1) 裁判長事件	5件(うち、大法廷事件	0件)
(2) 意見あり	9件(うち、大法廷事件	2件)
(意見の内訳)		
反対意見	1件(うち、大法廷事件	1件)
補足意見	5件(うち、大法廷事件	0件)
意見	3件(うち、大法廷事件	1件)

### 【刑事事件】

1 判例集登載判例	10件(うち、大法廷事件	0件)
(1) 裁判長事件	5件(うち、大法廷事件	0件)
(2) 意見あり	1件(うち、大法廷事件	0件)
(意見の内訳)		
反対意見	件(うち、大法廷事件	件)
補足意見	1件(うち、大法廷事件	0件)
意見	件(うち、大法廷事件	件)
2 裁判集(刑事)登載判例	12件(うち、大法廷事件	0件)
(1) 裁判長事件	0件(うち、大法廷事件	0件)
(2) 意見あり	0件(うち、大法廷事件	0件)
(意見の内訳)		
反対意見	件(うち、大法廷事件	件)
補足意見	件(うち、大法廷事件	件)
意見	件(うち、大法廷事件	件)

### (参考一判例集及び裁判集の刊行状況)

判例集 以下のとおり刊行済み。

78巻3号(令和6年6、7月分)まで



77巻索引まで

裁判集 以下のとおり刊行済み。

民事270号(令和5年1月～12月分)まで

刑事332号(令和5年1月～12月分)まで

※刊行予定

判例集 78巻4号(令和6年8、9月分) . . . . . 令和7年3月上旬予定

78巻5号(令和6年10月分) . . . . . 令和7年3月末予定

78巻6号(令和6年11月分) . . . . . 令和7年7月末予定

裁判集

民事271号(令和6年1月～12月分) . . . . . 令和7年7月下旬予定

刑事333号(令和6年1月～12月分) . . . . . 令和7年7月下旬予定

## 最高裁判所判事

草野耕一(くさのこういち)

(昭和 30 年 3 月 22 日生)



### 略歴

昭和 53 年	東京大学法学部卒業
昭和 53 年	司法修習生
昭和 55 年	弁護士登録(第一東京弁護士会)
昭和 61 年	ハーバード大学修士(LL.M.)
平成 16 年	西村あさひ法律事務所(当時の名称「西村ときわ法律事務所」)代表パートナー
平成 19 年	東京大学大学院法学政治学研究科客員教授
平成 25 年	慶應義塾大学大学院法務研究科教授
平成 26 年	ハーバード大学法科大学院客員教授
平成 30 年	東京大学博士(法学)
平成 31 年 2 月 13 日	最高裁判所判事

## 信条、趣味など

### 裁判官としての心構え

法令の解釈が異なれば人々の行動が異なり、人々の行動が異なれば社会のありようが変わります。この点を踏まえて、法令を適正に解釈することを通じて豊かで公正で寛容な社会を形成すべく、微力ながら全力で職務にあたりたいと考えています。

### 好きな言葉

「日々学び、日々反省し、以って向上し続ける」ということをこれまで生活の信条としてきました。これからもそうありたいと思っています。

### 印象に残った本

これまでたくさんの本を読んできましたが、心に残る作品としては、庄司薫の小説(とくに『さよなら快傑黒頭巾』)、加藤周一の随筆(とくに『羊の歌』)、司馬遼太郎の小説(とくに『坂の上の雲』)、村上春樹の小説(とくに『ノルウェイの森』)をあげることができるかと思います。

### 趣味

いろいろありますが、一番の趣味は「勉強」です。若いころはそうでもありませんでしたが、年をとるにつれて勉強が好きになってきました。50代の時には数学や経済学の勉強に励み、還暦を過ぎてからは、記憶力の低下を嘆きつつ、フランス語の勉強を続けています。歴史の勉強も好きで、最近では、イギリスとフランスの近世史、それから、日本の中世史の本をよく読んでいます。

## 調査官室ごとの主要関与事件

## 草野裁判官 主要関与事件（民事調査官室関係）

### 【大法廷】

#### 1 最大決令和3年6月23日・集民266号1頁（夫婦別姓訴訟）

夫婦同氏制を定める民法750条及び婚姻届に記載しなければならない事項として夫婦が称する氏を掲げる戸籍法74条1号の各規定が憲法24条等に違反するかが問題となった事案において、多数意見が、最大判平成27年12月16日の合憲判断を引用し、同判決以降にみられる社会の変化や国民の意識の変化を踏まえても、同判決の判断を変更すべきものとはいえないとしたのに対し、選択的夫婦別氏制を導入することによって向上する国民の福利は、同制度を導入することによって減少する国民の福利よりもはるかに大きいことが明白であり、かつ、減少するいかなる福利も人権又はこれに準ずる利益とはいえないにもかかわらず、同制度を導入しないことは、国会の立法裁量の範囲を超えるほどに合理性を欠くから、上記各規定は憲法24条に違反する、との反対意見を述べた。

#### 2 最大決令和5年10月25日・民集77巻7号1792頁（性同一性障害者特例法4号要件事件）

多数意見が、性同一性障害者が性別の取扱いの変更の審判を受けるためには生殖腺がないこと又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にあることを要とする性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律3条1項4号の規定は、身体への侵襲を受けない自由を制約するものであり、その制約は現時点において必要かつ合理的なものということはできず、憲法13条に違反し無効であるとしつつ、5号の規定について更に審理を尽くさせるため原審に差し戻すこととしたのに対し、4号が違憲無効であるとするには異存がないものの、5号が合憲とされる社会と違憲とされる社会とを比較すると、憲法が体现する諸理念に照らして後者の方がより善い社会であって、5号の制約手段は制約目的に照らして相当なものとはいえないから、5号も違憲であり、申立てを認める旨の自判をすべきである、との反対意見を述べた。

#### 3 最大判令和6年7月3日・民集78巻3号382頁（優生保護法事件）

多数意見は、旧優生保護法のいわゆる優生手術を定めた規定は憲法13条及び14条1項に違反し、上記規定に係る国会議員の立法行為は国家賠償法1条1項の適用上違法の評価を受けるとした上で、不法行為によって発生した損害賠償請求権が民法724条後段（平成29年法律第44号による改正前のもの）の除斥期間の経過により消滅したものとすることが著しく正義・公平の理念に反し、到底容認することができない場合には、裁判所は、除斥期間の主張が信義則違反又は権利濫用であるとして許されないと判断することができるとし、これと異なる趣旨をいう判例（最一小判平成元年12月21日・民集43巻12号2209頁等）を変更した。以上の多数意見に賛同した上で、その理由を民法724条後段の立法趣旨に即して敷衍する補足意見を述べた。

#### 【第二小法廷】

##### 4 最二小判令和2年2月28日・民集74巻2号106頁

被用者が使用者の事業の執行について第三者に加えた損害の賠償をした場合において、被用者は、相当と認められる額について、使用者に対して求償（いわゆる逆求償）をすることができる、とした法廷意見に関して、逆求償の額を判断するに当たっては当事者双方の属性と関係性その他の諸事情を適切に考慮すべきとする共同補足意見を述べた（全員一致・裁判長）。

##### 5 最二小決令和3年4月14日・民集75巻4号1001頁

弁護士職務基本規程57条に違反する訴訟行為について、相手方である当事者は、同条違反を理由として、これに異議を述べ、裁判所に対しその排除を求めることはできない、とした法廷意見に関して、共同事務所に所属する弁護士がいかなる条件の下で事件関与を禁止・容認されるのかを抽象的な規範（プリンシプル）ではなく、十分に具体的な規則（ルール）によって規律することは日本弁護士連合会に託された喫緊の課題の一つであるとの補足意見を述べた（全員一致・裁判長）。

##### 6 最二小判令和4年6月24日・民集76巻5号1170頁

ツイッターにおいてある者が逮捕された事実を摘示するメッセージの投稿が

された事案において、逮捕から約8年が経過し、その者が受けた罰金刑の言渡しは効力を失っているなど判示の事情の下においては、その者は、情報ネットワークの運営者に対し、メッセージの削除を求めることができる、とした法廷意見に関して、実名報道の機能の観点から、事実を公表されない法的利益が投稿を一般の閲覧に供し続ける理由に優越すると考えるべき理由を補足する意見を述べた（全員一致・裁判長）。

## 草野裁判官 主要関与事件（行政調査官室関係）

### 【大法廷】

- 1 最大判令和2年11月25日・民集74巻8号2229頁（地方議会出席停止懲罰取消請求訴訟）

地方議会の議員に対する出席停止の懲罰は司法審査の対象とならないとした判例（最大判昭和35年10月19日・民集14巻12号2633頁）を変更し、これが司法審査の対象となるとした（全員一致）。

- 2 最大判令和4年5月25日・民集76巻4号711頁（在外日本人国民審査権訴訟）

最高裁判所裁判官国民審査法が在外国民に審査権の行使を全く認めていないことが違憲であるとしたほか、国が在外国民に対して次回の国民審査で審査権の行使をさせないことが違法であることの確認を求める訴えを適法であるとし、さらに、国会の立法不作為が国家賠償法1条1項の適用上違法の評価を受けるとした（全員一致）。

- 3 最大判令和5年10月18日・民集77巻7号1654頁（令和4年参院選定数訴訟）

多数意見が、令和4年7月10日に行われた参議院議員通常選挙当時、平成30年法律第75号による改正後の公職選挙法14条、別表第3の参議院（選挙区選出）議員の議員定数配分規定の下での選挙区間における投票価値の不均衡は、違憲の問題が生ずる程度の著しい不平等状態にあったものとはいえず、上記規定が憲法14条1項等に違反するに至っていたとはいえないとしたのに対し、投票価値の不均衡の問題を論じるための指標としてジニ係数を用いた上で、国会の裁量権に掣肘を加えることなく投票価値の不均衡を改善し得る制度改革案として定数増加案を想定し得るものの、投票価値の不均衡の存在によって一部の国民が実際に不利益を受けているという疑念の根拠となる事実の立証がないなどとして、



上記選挙当時における投票価値の不均衡は違憲状態にあったものとはいえないとする意見を述べた。

#### 【第二小法廷】

#### 4 最二小判令和4年2月7日・民集76巻2号101頁（あはき師法違憲訴訟）

あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律19条1項が憲法22条1項に違反しないとする結論につき、多数意見とは異なる理由として、「総合施術業」（あん摩、マツサージ又は指圧の施術とはり又はきゅうの施術とを併用して行う施術業）の需要者の利益の減少等も考慮に入れて検討すべきであること等を指摘する意見を述べた。

#### 5 最二小判令和5年11月6日・民集77巻8号1933頁（みずほ銀行・法人税更正処分等取消請求事件）

内国法人に係る特定外国子会社等の事業年度の途中で当該特定外国子会社等の発行する優先出資証券が償還され、当該事業年度終了の時には、当該特定外国子会社等の発行済株式等が、当該内国法人が有し剰余金の配当等が予定されていない普通株式のみとなった場合において、当該特定外国子会社等の事業年度を当該優先出資証券の償還日の前日までとするなどの方法を探る余地もあったなど判示の事情の下では、租税特別措置法施行令（平成29年政令第114号による改正前のもの）39条の16第1項（本件規定）を適用することができないとした原審の判断には、租税特別措置法（平成29年法律第4号による改正前のもの）66条の6第1項の解釈適用を誤った違法があるとした法廷意見に関し、本件規定の適用により、合算課税の在り方が経済実態にそぐわなくなることにつき問題を提起し、そうした問題を回避する立法技術を示唆しながらも、本件に関する法改正の経緯等にも触れつつ、法廷意見の内容を別の角度から敷衍する内容の補足意見を述べた（全員一致・裁判長）。

6 最二小判令和6年4月26日・裁判集民事271号掲載予定（社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会事件）

労働者と使用者との間に当該労働者の職種及び業務内容を特定のものに限定する旨の合意がある場合において、使用者が当該労働者に対してその同意を得ることなくした異なる職種等への配置転換命令につき、使用者が同命令をする権限を有していたことを前提として、その濫用に当たらないとした原審の判断には、違法があるとした（全員一致・裁判長）。

## 草野裁判官 主要関与事件（刑事調査官室関係）

### 【第二小法廷】

#### 1 最二小決令和2年8月24日・刑集74巻5号517頁

生命維持のためにインスリンの投与が必要な1型糖尿病にり患している幼年の被害者の治療をその両親から依頼された被告人が、インスリンを投与しなければ被害者が死亡する現実的な危険性があることを認識しながら、自身を信頼して指示に従っている母親に対し、インスリンは毒であるなどとして被害者にインスリンを投与しないよう執ようかつ強度の働きかけを行い、母親をして、被害者の生命を救うためには被告人の指導に従う以外にないなどと一途に考えるなどして被害者へのインスリンの投与という期待された作為に出ることができない精神状態に陥らせ、被告人の治療法に半信半疑の状態であった父親に対しても母親を介してインスリンの不投与を指示し、両親をして、被害者へのインスリンの投与をさせず、その結果、被害者が死亡したなどの本件事実関係の下では、被告人には、母親を道具として利用するとともに不保護の故意のある父親と共謀した未必の殺意に基づく殺人罪が成立するとした（全員一致・裁判長）。

#### 2 最二小決令和2年9月16日・刑集74巻6号581頁

①医師法17条にいう「医業」の内容となる医行為とは、医療及び保健指導に属する行為のうち、医師が行うのでなければ保健衛生上危害を生ずるおそれのある行為をいう、②同条にいう「医業」の内容となる医行為に当たるか否かは、行為の方法や作用のみならず、その目的、行為者と相手方との関係、行為が行われる際の具体的な状況、実情や社会における受け止め方等をも考慮した上で、社会通念に照らして判断するのが相当である、③タトゥー施術行為は、装飾的ないし象徴的な要素や美術的な意義がある社会的な風俗として受け止められてきたものであって、医療及び保健指導に属する行為とは考えられてこなかったものであり、また、医学とは異質の美術等に関する知識及び技能を要する行為であって、医師免許取得過程等でこれらの知識及び技能を習得することは予定されておらず、歴史的にも、長年にわたり医師免許を有しない彫り師が行ってきた実情があり、医師が独占して行う事態は想定し難いという本件事情の下では、医師でない彫り師

である被告人が相手方の依頼に基づいて行ったタトゥー施術行為は、社会通念に照らして、医療及び保健指導に属する行為であるとは認め難く、同条にいう「医療」の内容となる医行為には当たらない、とした（全員一致・裁判長）。法廷意見に関し、医療関連性を要件とすることについて、これを支える補足意見を述べた。

### 3 最二小判令和3年1月29日・刑集75巻1号1頁

被告人が、自動車を運転する予定の者に対し、ひそかに睡眠導入剤を摂取させて運転するよう仕向けたことにより、走行中にその運転者が仮睡状態等に陥って自車を対向車線に進出させて対向車に衝突させる交通事故を引き起こし、対向車の運転者に傷害を負わせたという殺人未遂被告事件について、対向車の運転者に対する殺意を認めた第1審判決に事実誤認があるとした原判決は、死亡の危険性及びその認識に関する第1審判決の評価が不合理であるとする説得的な論拠を示していないなど、第1審判決が論理則、経験則等に照らして不合理であることを十分に示したものとはいえず、刑訴法382条の解釈適用を誤った違法があり、同法411条1号により破棄を免れないとした（全員一致・裁判長）。

### 4 最二小決令和3年2月1日・刑集75巻2号123頁

①電磁的記録を保管した記録媒体がサイバー犯罪に関する条約の締約国に所在し、同記録を開示する正当な権限を有する者の合法的かつ任意の同意がある場合に、国際捜査共助によることなく同記録媒体へのリモートアクセス及び同記録の複写を行うことは許される、②警察官が、⑦リモートアクセスによる電磁的記録の複写の処分を許可した捜索差押許可状記載の捜索場所においてコンピュータから記録媒体にリモートアクセスをして当該コンピュータの使用者のメールアドレスに係るメール等の電磁的記録を複写するなどし、④同所に所在するコンピュータの使用者からアカウントの付与を受けるなどして同所外のコンピュータからリモートアクセスをして電磁的記録の複写を行った場合、上記各リモートアクセスの対象である記録媒体が日本国外にあるか、その蓋然性が否定できないものであっても、⑦の手続は、コンピュータの使用者の任意の承諾に基づく任意捜査として適法であるとはいえず、サイバー犯罪に関する条約32条が規定する場合に該当するともいえないが、実質的には、司法審査を経て発付された同許可状に基づ

く手続ということができ、警察官は、同許可状の執行と同様の手続により、同許可状において差押え等の対象とされていた証拠を収集したものであって、同許可状が許可する処分の範囲を超えた証拠の収集等を行ったものとは認められず、警察官が、国際捜査共助によらずにコンピュータの使用者の任意の承諾を得てリモートアクセス等を行うという方針を採ったこと自体が不相当であるということとはできない、①の手続についてのコンピュータの使用者の承諾の効力を否定すべき理由はないなど判示の事情の下においては、②、④の各手続について重大な違法があるということとはできず、警察官が各手続により収集した証拠の証拠能力を肯定することができる、③搜索差押許可状によるリモートアクセスによる複写の処分の対象となる電磁的記録に被疑事実と関連する情報が記録されている蓋然性が認められる場合において、差押えの現場における電磁的記録の内容確認の困難性や確認作業を行う間に情報の毀損等が生ずるおそれ等があるという事情の下においては、個々の電磁的記録について個別に内容を確認することなく複写の処分を行うことが許される、④インターネット上の動画の投稿サイト及び配信サイトを管理・運営していた被告人兩名が、上記各サイトに投稿・配信された動画が無修正わいせつ動画であったとしても、これを利用して利益を上げる目的で、上記各サイトにおいて不特定多数の利用者の閲覧又は観覧に供するという意図の下、上記各サイトの仕組み等を通じて動画の投稿・配信を勧誘し、投稿者及び配信者らが、上記の働きかけを受け、同様の意図に基づき、上記各サイトのシステムに従って投稿又は配信を行ったものであり、わいせつ電磁的記録記録媒体陳列罪及び公然わいせつ罪は、上記投稿者らが無修正わいせつ動画を上記各サイトに投稿又は配信することによって初めて成立し、上記投稿者らも、被告人兩名らによる上記勧誘及び上記各サイトの管理・運営行為がなければ、無修正わいせつ動画を不特定多数の者が認識できる状態に置くことがなかったなどの本件事実関係の下では、被告人兩名について、上記投稿者らとの上記各罪の各共同正犯が成立する、とした（全員一致・裁判長）。

##### 5 最二小判令和5年3月24日・刑集77巻3号41頁

①刑法190条にいう「遺棄」とは、習俗上の埋葬等とは認められない態様で死体等を放棄し又は隠匿する行為をいう、②被告人の居室で、出産し、死亡後間

もないえい児の死体をタオルに包んで段ボール箱に入れ、同段ボール箱を棚の上に置くなどして、他者が死体を発見することが困難な状況を作出したという被告人の隠匿行為は、それが行われた場所、死体のこん包及び設置の方法等に照らすと、同条にいう「遺棄」に当たらない、とした（全員一致・裁判長）。

言 渡	令和6年4月26日
交 付	令和6年4月26日
裁 判 所 書 記 官	

令和5年（受）第604号

判 決

[Redacted]

上 告 人

[Redacted]

同訴訟代理人弁護士

塩 見 卓 也

滋賀県草津市笠山7-8-138

被 上 告 人

社会福祉法人滋賀県社会福祉  
協議会

同代表者理事長

渡 邊 光 春

同訴訟代理人弁護士

野 嶋 直

上記当事者間の大阪高等裁判所令和4年（ネ）第1373号損害賠償等請求事件について、同裁判所が令和4年11月24日に言い渡した判決に対し、上告人から上告があった。よって、当裁判所は、次のとおり判決する。

主 文

- 1 原判決中、110万円及びこれに対する平成31年4月1日から支払済みまで年5分の割合による金員の支払請求に関する部分を破棄する。
- 2 前項の部分につき、本件を大阪高等裁判所に差し戻す。

理 由

上告代理人塩見卓也の上告受理申立て理由について

- 1 本件は、被上告人に雇用されていた上告人が、被上告人から、職種及び業務内容の変更を伴う配置転換命令を受けたため、同命令は上告人と被上告人との間でされた上告人の職種等を限定する旨の合意に反するなどとして、被上告人に対し、債務不履行又は不法行為に基づく損害賠償請求（以下「本件損害賠償請求」という。）等をする事案である。

2 原審の確定した事実関係等の概要は、次のとおりである。

(1) 公の施設である滋賀県立長寿社会福祉センターの一部である滋賀県福祉用具センター（以下、単に「福祉用具センター」という。）においては、福祉用具について、その展示及び普及、利用者からの相談に基づく改造及び製作並びに技術の開発等の業務を行うものとされており、福祉用具センターが開設されてから平成15年3月までは財団法人滋賀県レイカディア振興財団が、同年4月以降は上記財団法人の権利義務を承継した被上告人が、指定管理者等として上記業務を行っていた。

(2) 上告人は、平成13年3月、上記財団法人に、福祉用具センターにおける上記の改造及び製作並びに技術の開発（以下、併せて「本件業務」という。）に係る技術職として雇用されて以降、上記技術職として勤務していた。上告人と被上告人との間には、上告人の職種及び業務内容を上記技術職に限定する旨の合意（以下「本件合意」という。）があった。

(3) 被上告人は、上告人に対し、その同意を得ることなく、平成31年4月1日付けでの総務課施設管理担当への配置転換を命じた（以下、この命令を「本件配転命令」という。）。）。。

3 原審は、上記事実関係等の下において、本件配転命令は配置転換命令権の濫用に当たらず、違法であるとはいえないと判断し、本件損害賠償請求を棄却すべきものとした。

4 しかしながら、原審の上記判断は是認することができない。その理由は、次のとおりである。

労働者と使用者との間に当該労働者の職種や業務内容を特定のものに限定する旨の合意がある場合には、使用者は、当該労働者に対し、その個別的同意なしに当該合意に反する配置転換を命ずる権限を有しないと解される。上記事実関係等によれば、上告人と被上告人との間には、上告人の職種及び業務内容を本件業務に係る技術職に限定する旨の本件合意があったというのであるから、被上告人は、上告人に対し、その同意を得ることなく総務課施設管理担当への配置転換を命ずる権限をそ



もそも有していなかったものというほかない。

そうすると、被上告人が上告人に対してその同意を得ることなくした本件配転命令につき、被上告人が本件配転命令をする権限を有していたことを前提として、その濫用に当たらないとした原審の判断には、判決に影響を及ぼすことが明らかな法令の違反がある。

5 以上によれば、この点に関する論旨は理由があり、その余の論旨について判断するまでもなく、原判決中、不服申立ての範囲である本判決主文第1項記載の部分（本件損害賠償請求に係る部分）は破棄を免れない。そして、本件配転命令について不法行為を構成すると認めるに足る事情の有無や、被上告人が上告人の配置転換に関し上告人に対して負う雇用契約上の債務の内容及びその不履行の有無等について更に審理を尽くさせるため、本件を原審に差し戻すこととする。

よって、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり判決する。

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	草	野	耕	一
裁判官	三	浦		守
裁判官	岡	村	和	美
裁判官	尾	島		明